

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	多発性骨髄腫	DRd
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日 可能な限り	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day-)			
							1	8	15	22
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓
2	<b>ダラツムマブ</b> + 生食 初回投与は1Lの規格で 2回目以降は500mlの規格で 輸液量・投与速度は以下の表参照	16 mg/kg	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	医師の指示通り	↓	↓	↓	↓
		実際の投与量 ml 実際の投与量 ml								
3	生食	50ml			点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓

3クール目以降はDay1・15のみ投与  
7クール目以降はDay1のみ投与

Rp	薬品名	薬価最小组み合わせ	備考						
2	<b>ダラツムマブ</b>	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>内訳</td> <td>100mg</td> <td>0mg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400mg</td> <td>0mg</td> </tr> </table>	内訳	100mg	0mg		400mg	0mg	生食を用いて希釈後の総量を1000mlとし、50ml/時の投与速度で開始。 Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら希釈後の総量及び投与速度を以下のように変更することができる。ただし、投与速度の上限は200ml/時とする。
内訳	100mg	0mg							
	400mg	0mg							

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度(ml/時)			
		0~1時間	1~2時間	2~3時間	3時間以降
初回投与	1000ml	50	100	150	200
2回目投与	500ml				
3回目投与以降	500ml	100	150	200	

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
レナリドミド	25mg	分1朝食後	day1~21
デキサメタゾン (レナデックス)	20mg	分1朝食後※	day1、2、8、9、15、16、22、23
アセトアミノフェン	1000mg	ダラツムマブ投与1~3時間前	ダラツムマブ投与日
ジフェンヒドラミン	30mg		
モンテルカスト	10mg	前日眠前と当日朝	1クール目 day1のみ※※

**ダラツムマブ投与時にはインラインフィルター(0.22 μm又は0.2 μm)を用いて投与すること。**

3クール目以降は、day1、15に施行  
7クール目以降は、day1に施行

※ダラツムマブ投与日のデキサメタゾン内服はダラツムマブ投与の1~3時間前に投与すること。

※※1クール目day1のみ前日眠前、当日朝にモンテルカスト10mを内服。呼吸器疾患のある場合は以降も継続。

デキサメタゾンの用量・投与期間は、患者の状態に変更する場合があります。

備考	
----	--